学校番号	3031

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年生の授業では、美術表現の基礎的な技法を一通り体験できるように課題を用意しています。「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア」各分野について「色・形・材料」を用いて視覚的に表現すること学びます。また、「鑑賞」を通して、作者の心情や表現意図を読みとり、自分の言葉でそれを他者に伝えることを学び、自己の表現に生かしましょう。
・制作全般を通して物事を多角的にとらえる「観察力」や「想像力」、新しいイメージの発見と発想を得ることで、造形的能力を高めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　表現の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした制作をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　観察力や想像力を生かして、自ら主題を生成し、創造的な表現に取り組むようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　美術の幅広い活動を通して、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、主体的に表現や鑑賞に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・作品の表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを味わい創造的に表している。 ・意図に応じて言葉等を用いて作品を表現することができている。 ・美術表現に必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫している。	・観察力や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	デザイン技法『FACE』	【デザイン】 色彩効果と視覚効果を生かした表現を学ぶ。 ■基礎制作 ・人物の写真を用いてハイコントラストの原画を作成する。 ・色彩について学び、色のトーンや色相、色彩のイメージを生かした配色について考える。 ■本制作 ・ハイコントラスト処理した原画を基に画面構成を考える。 ・構想・計画を基に複数の段階に分けて平塗りする。	a:色彩の持つ性質や特性を理解し、配色や構成を工夫し表現しようとしている。（知識・技能） b：見る人の視点移動に伴う視覚効果を生かした表現について構想を練っている。 色のイメージを生かした表現について構想を練ることができている。（発想や構想） b：色彩の調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（鑑賞） c:表現する内容や意図に応じて構成や色彩を工夫し,効果的に創作活動に取り組もうとしている。	ワークシート・アイディアスケッチ 原画 制作の様子 制作途中作品 提出作品 振り返りシート	ワークシート・アイディアスケッチ 原画 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート・アイディアスケッチ 原画 制作の様子 制作途中作品 提出作品
	ドローイング『X氏の肖像』	【絵画】 身近な存在でありながらも、いままで理解するに至らなかった難解で様々な表情を持つ人物をX氏とし、人物をイメージしながら紙と鉛筆を用いてドローイングに取り組みＸ氏への理解を試みる。 ■基礎制作 ・様々な感情について簡単なドローイングを行う。 ■本制作 ・Ｘをイメージしながら紙・鉛筆を用いてドローイングする。 ・作品を基にＸ 氏について文章で表現し、X氏を分析し理解を試みる。	a: テーマを基に自己や他者の内面に目を向け表現しようとしている。表現の技法を理解し、作品に積極的に取り入れ表現しようとしている。（知識・技能） b:モチーフやや動きなどから自己や他者の内面に目を向け想像し、考え感じたことから主題を生成し、構想を練っている。（発想や構想） b：よさや美しさ、作者の表現意図や工夫などを感じ取り、理解を深めている。（鑑賞） c: 素材固有の表現や素材を生かして明暗に工夫するなど効果的に創作活動に取り組もうとしている。	感情表現のドローイング作品 制作の様子 制作途中作品 提出作品	感情表現のドローイング作品 制作の様子 制作途中作品 提出作品	感情表現のドローイング作品 制作の様子 制作途中作品 提出作品 考察シート

	『鑑賞レポート』	【鑑賞】 大阪府高等学校美術・工芸展もしくは近郊の美術館での鑑賞レポート ・本物を鑑賞しレポートにまとめる。	a：他者の作品を理解しようとしている。（知識） b：作者の意図や工夫を感じ取り、理解を深める（鑑賞） c：他者の作品を理解しようと取り組んでいる。			レポート
後期	立体表現『〇〇なかたち』 ～抽象形態による立体制作～	【立体】 2次元から3次元へ。抽象形態による立体表現に取り組むことで、想像力の刺激のしかた、発想のしかたを学ぶ。 ■基礎制作 ・抽象形態の発想方法についてプリント学習する。 ・カービングの方法や道具の扱いについて学習する。 ■本制作 ・粘土でマケットを制作する。 ・スタイロフォームを貼り合わせ塊にしたものから削り出す。 ・表面に石粉粘土を貼り耐水ペーパーで丁寧に磨く。	a：カービング技法の特性を理解し、制作に生かしている。（知識） 抽象表現に関心を持ち、積極的に表現しようとしている。（技能） b：言葉から形をイメージし、素材や技法を生かす構想を練っている。（発想や構想） b：形態や質感の美しさや表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。（鑑賞） c：カービングの技法の特性を生かし、形態や質感の美しさに留意し、空間を意識した表現に取り組もうとしている。	ワークシート マケット 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート マケット 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート マケット 制作の様子 制作途中作品 提出作品 振り返りシート
	油彩画『自画像』	【絵画】 自己を見つめ、自分の内的表現にまで発展させる事を目的に学習する。 ■制作 ・自己の内面や取り巻く状況から主題を生成する。 ・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自己を観察し、油彩を用いて描く。	a：油彩のマチュエールや色彩、特性を理解し、制作に生かしている。（知識） テーマを基に自己の内面を見つめて積極的に観察・表現しようとしている。（技能） b：油彩のマチュエールや色彩、描く対象の形態を工夫し表現を練っている。（発想や構想） b：作品の良さや美しさ、作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。（鑑賞） c：自己を観察・探究し、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し表現に取り組もうとしている。	ワークシート 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中作品 提出作品 振り返りシート

	校内作品展鑑賞	【鑑賞】 校内作品展鑑賞。美術のみならず、広く芸術表現について（工芸・書道も含む）鑑賞し、味わう。	a：他者の作品を理解しようとしている。（知識） b：作者の意図や工夫を感じ取り、理解を深める（鑑賞） c：他者の作品を理解しようと取り組んでいる。（表現に関して）			レポート
	映像メディア表現　『天高リレーアニメーション』	【映像メディア表現】 コマ撮りアニメーションの技術を用い、指定された方向に出と入りのあるリレーアニメーションを制作する。 ■制作 ・モチーフの決定 ・モチーフがどのように変化していくかを撮影する	a：アニメーションの特性を理解し、制作に生かしている。（知識） モチーフにあった動きや背景を選択し、表現しようとしている。（技能） b：アニメーションの特性を生かし、動きなどの表現を工夫して練っている。（発想や構想） b：作品の良さや美しさ、動きなどを感じ取り、作品について理解を深めている。（鑑賞） c:アニメーションの良さを味わい、表現に取り組もうとしている。（表現に関して）	ワークシート 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中作品 提出作品	ワークシート 制作の様子 制作途中作品 提出作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度